



企画特別大使広報

# MICROさんとカリソンキッズ

# かりや盆フェス

8月20日(土)のわんさか祭り当日に、市民盆おどり大会を3年ぶりに開催しました。

今年から、子どもから大人までみんなが楽しめる「あたらしい盆おどり」をテーマに、「かりや盆フェス」としてリニューアル。MCに刈谷市広報大使のMICROさん、DJにビッチFMパーソナリティーのTESHIEさんを迎え、大きな盛り上がりを見せました。やぐらでは、青年団協議会の力強い太鼓とともに民謡愛好会の踊りが会場を魅了し、総合型地域スポーツクラブの子どもたちがダンスを披露しました。

オープニングでは、MICROさんが作詞作曲・監修した「アイリス」希望の花言葉」を、カリソンキッズが生歌で披露しました。

MCを務めたMICROさんと、素敵な歌を披露してくれたカリソンキッズのインタビューした内容を次ページに掲載したのでご覧ください。

問 市レクリエーション協会（☎63・6040）

## 盆フェスのMCを終えて

地元にもつわるイベントは、地元刈谷市を愛する一人の仲間として、可能な限りお手伝いさせていただきたいなと思っていました。そんな中で依頼をいただいた、新たに始まる「かりや盆フェス」のMC。歴史ある盆踊りの良さと、フェス感のある楽しい演出をいかに織り交ぜ、来場された皆さんとどれだけ一緒に楽しむことができるかをテーマに、DJのTESHIEさんと精一杯挑ませていただきました。



生まれ変わった盆おどり大会を終えて、カリソンキッズ合唱団によるオープニングから始まり、わんさか祭りの



MICROさん

ファイナーレの花火まで数珠つなぎで駆け抜けられた心地いい手応えを感じることができました。

MCをしていて「わんさか祭りや盆おどり大会の開催を待っていてくださったのだな」と、やぐらの上から見えた皆さんの楽しそうな表情や、久しぶりに見えた盆おどりの一体感に感動しました。また、オーディションを勝ち抜いた、オリジナルメンバー全員で生歌をお届けできたことがとてもうれしかったです。子どもたちの音源以上に元気な歌声が会場を暖かく包み込んでくれました。

この数年、コロナの影響で大変な思いをされた人も多くいると思います。私もその1人です。ですが、「アイリス」希望の花言葉」にもあるように幸せは必ずやってくる信じて、みんなで乗り越えていきましょう！

## カリソンキッズの声

盆フェスで生歌披露の依頼があったとき、「コロナで歌える機会が減ったけど、またキッズのみんなと歌えるのがうれしい」と話す反面、屋外で歌うという新しい試みに緊張している様子だったキッズの皆さん。しかし、本番は歌い出しこそ緊張していたものの、普段からたくさん練習を行っていたため「途中からは楽しく歌うことができた」と

全員、笑顔で話します。中には、「改めてアイリスがいい歌だと思った」という子も。「お祭りだし、もっともっと元気にやればよかった。ステージから遠くにいた人たちにも、もっと楽しさや歌の良さが届くようにしたい」、「またできるなら、もう少し手を叩いたり、リズムに合わせたい」と、次回への出演に意気込んでいました。

## カリソンキッズ



(後列左から) 松岡陽菜さん、岩間優奈さん、廣田舞白さん、市成沙有さん、市成希季さん、林希穂さん、森瑚珀さん  
(前列左から) 石川莉央奈さん、廣田俐乃さん、齋藤那七葉さん、森瑛さん

